

Fellowship for the Advancement of Radiology

情報誌

F A R

23 号

事務局：(社) 日本放射線技術学会事務局内

〒600-8107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町 167 ビューフォート五条烏丸 3F

TEL:075-354-8989. FAX:075-352-2556 / <http://www.jsrt.or.jp>. Email:office@jsrt.or.jp

《ごあいさつ》

丑年を迎えて

副会長 川上壽昭



会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。よきお年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

今年は丑年、何事にもアクセクせず広い放牧場でのんびりと草を食む牛のように、ゆったりとした生活がしてみたいものと願っていますが、さて現実はとなると、大変にむずかしいだろうと、正月早々から少し寂しくなっております。

平成 13 年に発足した FAR 会も今年で 9 年目を迎えることになりました。会員も 100 名前後に安定し、年 3 回発行される会誌も会員の方々のユニークな投稿内容と併せ山田編集委員長の見事な編纂の妙により、回を重ねるごと充実した内容となり毎回届くのを楽しみにしております。

そして、FAR 会のもう一つの大きな楽しみ。

後藤先生のお世話で神戸から始まった「楽しい語らい会」も、今年は平林先生と飯山先生のお世話で「牛に引かれて善光寺まいり」ならぬ「姫にひかれて草津温泉へ」と案内して頂きましたが、道中にバスの窓越しから飛び込んできた軽井沢の紅葉の鮮やかさ、目に焼きついております。改めてお礼申し上げます。それにも増して、草津温泉の夜の学会での先生方のお元気なこと。

「老いてますます盛んなり」でしょうか。

先日読んだ本に「本当は、人生の本番は 75 歳からだった。長生き遺伝子を作動せよ」というのがありました。

その内容は、ここ数年の最先端医学では長生き遺伝子が話題になっています。これは、誰でも持っている遺伝子なのですが、これにスイッチを入れないと、活性化されないのです。長生き遺伝子のスイッチが入ると、免疫力がアップして、死亡率が減って、まさに長生きモードにからだが変化していくのです。そんな夢のようなことが起こることがわかってきたのです。そのスイッチを入れる確実な方法は、食事を 6 割から 7 割くらいに減らすことです。これが今確実にわかっている長生きする方法です。というものでした。決して皮肉ではありません。

全会員の方が息災で、春の横浜そして秋には岡山でお会いできることを楽しみにしています。

内 容

1. ごあいさつ 副会長 川上壽昭
2. 2009 FAR 会懇親の夕べ
3. 2008 FAR 会軽井沢、草津への旅報告
4. 追悼
5. 特集「この頃、腹が立つこと・うれしかったこと」
 - 1) 年末の忙しいとき 石井 勉
 - 2) うれしかったこと 喜多村道男
 - 3) 電車の中で…… 清水久子
 - 4) 現役時代の仲間たちとの交流 鶴田重彦
 - 5) 思いがけない入選 中村純雄
 - 6) この頃、腹が立つこと…… 前田幸一
 - 7) 惜別 山本義憲
6. JSRT 情報
7. 会員動向
8. 会からのお知らせ
9. 第 24 号の特集原稿募集
10. 連載《ご当地自慢 その一》 川上壽昭
「道後温泉」
11. 編集後記